

## 事業評価シート

担当課・室長：環境研究技術室長

事業名	技術の振興
上位施策名	試験研究、監視・観測等の充実、適正な技術の振興等
1 事業の概要	<p>本事業は、環境技術の振興を図るため、以下の事業を実施するものである。</p> <p>環境保全技術の開発・普及の促進を図るため、「環境技術開発等推進事業」を実施。本制度は、次世代の環境保全技術の基礎となる「知的資産」を蓄積するための「基礎研究開発課題」及び比較的短期間にある程度の実用化が見込まれる技術の研究・開発・実証を行う「実用化研究開発課題」について広く産学官の英知を活用し行うもの。</p> <p>「環境研究技術の情報収集及び評価体制に関する調査」として、効率的な情報収集整備体制等について検討するとともに、技術の評価基準及び望ましい評価体制について検討。</p>
2 進捗状況	<p>「環境技術開発等推進事業」のうち、「基礎研究開発課題」については、平成11年度に1課題、平成12年度に1課題が終了。また、平成12年度から新規に採択された2課題が平成13年度も継続中。</p> <p>「実用化研究開発課題」については、平成13年度から新規に実施したものであり、現在、公募をしているところ（現時点での応募状況、民間企業73を含み191件）。</p> <p>平成12年度は、「環境研究技術の情報収集及び評価体制に関する調査」として、環境技術情報ネットワークの整備、技術評価体制の整備に向けた検討を行ったところ。平成13年度は、技術の評価手法及びより具体的な情報ネットワークのあり方等について調査・検討の上、調査報告等を取りまとめる予定。</p>
3 評価	<p>「環境技術開発等推進事業」のうち、「基礎研究開発課題」の終了2課題については、それぞれ生物多様性や化学物質によるリスク評価に関する基礎的情報が得られ、今後、具体的対策の検討に資する知的基盤として活用される。</p> <p>「実用化課題」については、本年度より開始されたものであり、まだ具体的成果の評価はできないものの、環境関連技術の開発を行う民間企業等外部の反響は極めて大きく、環境技術開発へのインセンティブとしての効果が期待される。</p> <p>また、本事業をより効果的・効率的に実施するため、環境保全技術の環境保全効果に関する現状評価と追跡評価を含めた総合評価体制整備、そのためのシステム構築が課題となっている。</p> <p>「環境研究技術の情報収集及び評価体制に関する調査」については、平成13年度において最終結論を得て、今後の環境保全技術に関する情報収集・整備を行う効果的なシステムの開発とその運営や環境技術の評価体制の構築につなげる。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境技術開発等推進費</li> <li>・環境研究技術情報普及推進事業費</li> <li>・環境技術開発普及戦略策定調査費</li> <li>・環境技術評価推進事業</li> <li>・環境研究技術の情報収集及び評価体制に関する調査費</li> </ul>
5 対応副施策等	